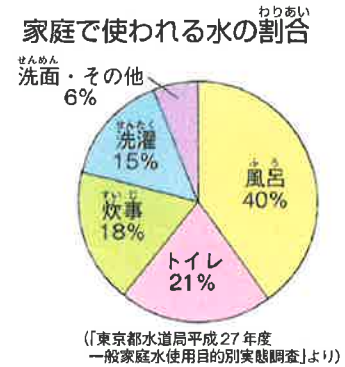
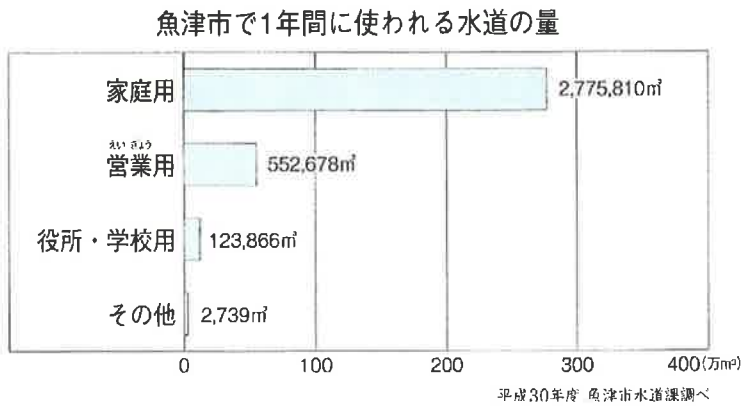


社会⑤使われる水の量について考えよう。(きょう土のすがた P27、わたしたちの魚津 P48 対応)

○自分の家では、何をするとき水を使っているか考えましょう。(例) 花だんの花にみずをあげるとき。

歯みがき、顔あらいをするとき、おふろ。トイレの水を流すとき、花に水をやるとき、料理をするとき。
など。



○魚津市で1年間に使われる水道の量で1番多く使われているのは(家庭)用に使う水です。また、わたしたちが最も多く水を使う場所が(おふろ)です。次に(トイレ)、次に料理をつくる(炊事)になっています。

○魚津市では、一人当たり(227)リットル、となみ市では一人当たり(300)リットルの水を使用しています。

○わたしたちは、毎日たくさん水を使っています。もし、水道から水が出てこなくなったらあなたの生活はどのように変わるでしょうか。考えて書きましょう。

どこから水をくんで? こないといけないうので、大へんになる。おふろが毎日入れなくて、病気になるかもしれない。せたく物がたまる。
など。

【学習した日時】 月 日 () 時 分 ~ 時 分

番 名前

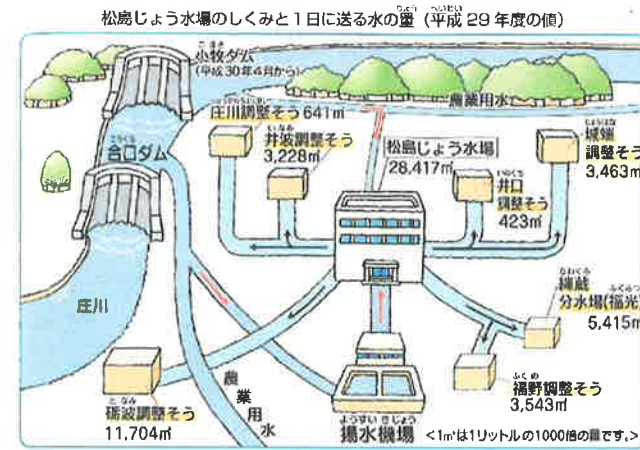
社会⑥水はどこからくるのか調べよう。(きょう土のすがた P28~P31、わたしたちの魚津 P48 対応)



○魚津市の水道はおもに水道(上水道)とかんい水道の2つに分けられます。水道は、片貝川近くの(8つの水げん地)からくみ上げた(地下水)をしょうどくして使用しています。かんい水道も地下水やわき水を使っています。

○水源地からポンプでくみげられた地下水は、横まくらの(じょう水場)でしょうどくされます。

しょうどくされた水は(配水池)に送られ、地下の配水管を通して家庭に送られます。



○となみ地区の家庭や学校で使う水は、松島(じょう水場)から毎日送られてきます。

○松島じょう水場の水は、(しょう川)から運ばれてきます。(合口)ダムから井波の(よう水機場)へ取り入れられた水は、松島じょう水場に送られます。そこ

できれいになった水は、となみ地区のそれぞれの(調整そう)や(分水場)に送られ、学校や家庭に送られます。2018年からは(小まさ)ダムからも水を取り入れています。

○広い水道の仕組みができたことによって、わたしたちは、いつでも(安心)な水を十分に使うことができるようになりました。

【学習した日時】 月 日 () 時 分 ~ 時 分

番 名前